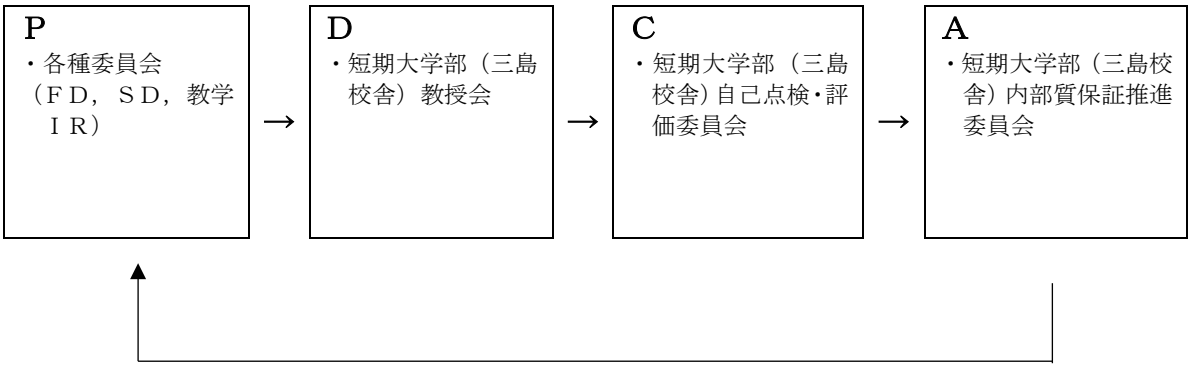
令和７年度全学自己点検・評価報告書

学部等名　　短期大学部（三島校舎）

基準２ 内部質保証

１　内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し，改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名（例：教授会，自己点検・評価委員会，内部質保証推進委員会等）を明記してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。

＜評価の視点＞

・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪　学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

短期大学部（三島校舎）では，教育研究活動の質の改善を目指し，日本大学の内部質保証に関する方針に基づき活動している。これまでに，教学ＩＲ委員会が中心となり，令和５年度に退学者や成績不振者の傾向分析を実施し，特に１年次必修科目に関する欠席状況に基づき，令和６年度から早期面談を行うなど，個別具体的な学生支援の改善策を実行に移している。しかしながら，これらの個別的な改善活動の成果を，学部全体の内部質保証システムの中で検証し，次年度以降の活動計画へ有機的に統合・反映していくＰＤＣＡサイクルが，十分に機能しているとは言い難い状況である。全学的な検証結果が示すとおり，短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会が，各委員会の自己点検・評価活動に対して運営支援，検証，及び改善指示を主導する役割や各委員会間の連携体制が明確になっていないという課題が残されている。今後は，この課題を踏まえ，短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会の主導性を明確化し，ＩＲ活動等の成果が具体的な改善指標を用いて定期的に評価される体制を確立することで，システムの有効性を確保し，教育の質の継続的な改善・向上を確実に図る。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

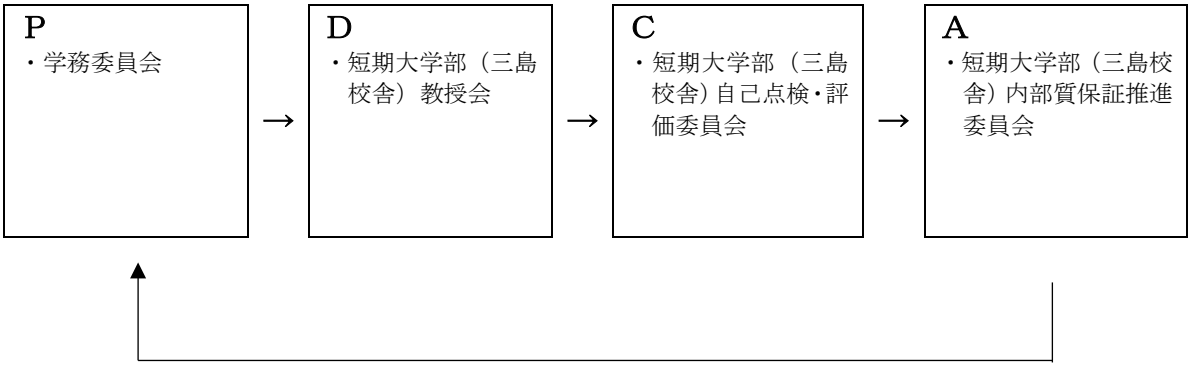
【提言（改善課題）】

短期大学部（三島校舎）における内部質保証体制は整備されつつあるものの，各種委員会が短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会へ報告し，評価を受ける仕組みは「予定」として示されている段階にとどまっている。そのため，実際にどのように検証が行われ，改善へとつながったのかを具体的に示す実績が十分ではないなため，改善が求められる。

短期大学部（三島校舎）は，検証結果（基準２：内部質保証）に付された提言（是正勧告・改善課題）に対応し，内部質保証システムの有効性及び適切性の向上に向けた取組を強化する。全学的な検証結果では，学部等における短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会が，自己点検・評価活動に対する運営支援，検証，及び改善指示に関する事項を任務としているにもかかわらず，多くの学部等において，主体となる委員会等と短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会との連携体制が不明確であることが指摘されており，これは短期大学部にも共通する課題である。また，短期大学部における内部質保証システムは，教学ＩＲ活動等により改善の方向性を目指しているものの，その成果を組織的に検証し，次年度の活動に反映させるＰＤＣＡサイクルが十分に機能していないという課題も残されている。この提言を受け，短期大学部（三島校舎）では，短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会の主導的役割を明確化し，各委員会（教学ＩＲ，ＦＤ，短期大学部（三島校舎）自己点検・評価委員会等）との連携体制を抜本的に強化する。これにより，各委員会から提出される改善活動の結果について，具体的な指標を設定して定期的に検証・評価し，その結果に基づき，教育の質保証の仕組みがより有効に機能できるよう，改善・向上に向けた具体的な指示を出す体制を確立する。この組織的な連携強化と進捗管理の厳格化を通じて，自己点検・評価活動を教育研究活動の質の継続的な改善に確実に結び付けるＰＤＣＡサイクルを実質的に機能させることを目指す。

基準３ 教育研究組織

１　教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑫　学問の動向や社会的要請等に対応すべく，学科や研究所の新設，学科の改組等，教育研究組織の見直しについて，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

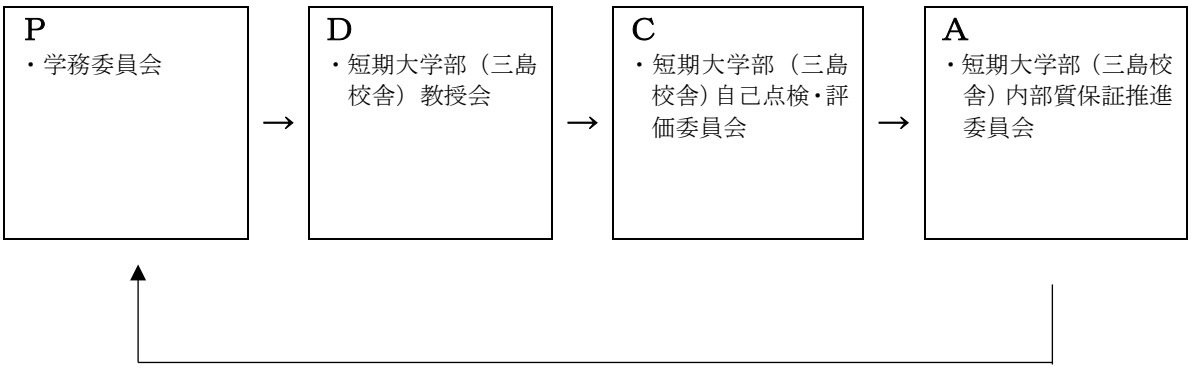
事務執行部会，短期大学部（三島校舎）自己点検・評価委員会及び短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会等による検証は，現時点では行われていないため，見直しを図っていく。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準４ 教育・学習

１　教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。**
- **課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。**
- **自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。**

㊶　教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

事務執行部会，短期大学部（三島校舎）自己点検・評価委員会及び短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会等による検証は，現時点では行われていないため，見直しを図っていく。

㊸　教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

短期大学部（三島校舎）では，教育課程及びその内容，方法の適切性について定期的に点検・評価をする仕組みがなく，学務委員会において教育課程（カリキュラム）改正の際に，教育課程及びその内容，方法を検証し，教育課程の改善・向上の参考にしているのが現状である。

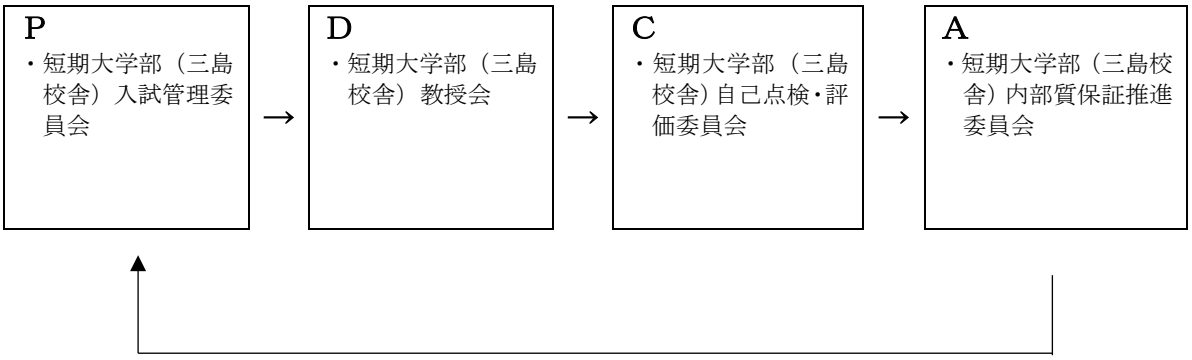
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

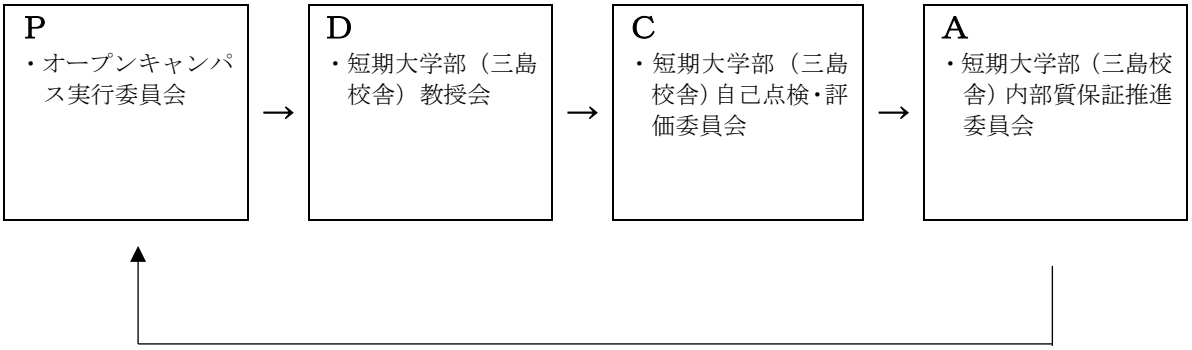
基準５ 学生の受け入れ

１　学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【入学者選抜計画，運営確認・入試広報】



【オープンキャンパス】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

㊾　学生の受け入れに関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

【入学者選抜・入試広報】

各年度入学者選抜及び入試広報を入試管理委員会において計画し，教授会に諮り実行，当該年度の入試結果等に基づく改善点・次年度計画等を検討している。

短期大学部（三島校舎）自己点検・評価委員会及び短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会等による検証は，現時点では行われていないため，見直しを図っていく。

【オープンキャンパス】
　各年度オープンキャンパスをオープンキャンパス実行委員会において計画し，教授会に諮り実行，当該年度の来場者人数及びアンケート等に基づき次年度計画・改善を行っている。
　短期大学部（三島校舎）自己点検・評価委員会及び短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会等による検証は，現時点では行われていないため，見直しを図っていく。

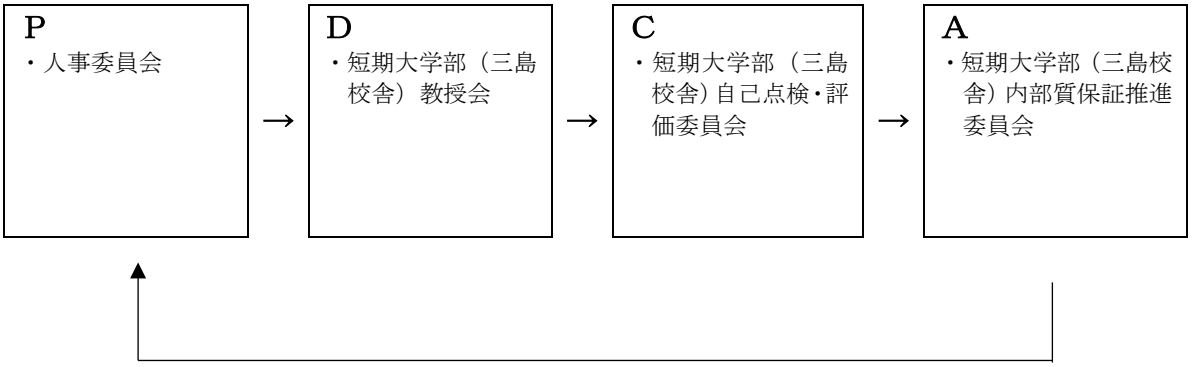
3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（是正勧告）】
　ビジネス教養学科においては，過去５年間の入学定員に対する入学者数比率の５年平均が 0.77，収容定員に対する在籍学生数比率が 0.57 と著しく低いため，定員管理を徹底するよう是正されたい。

　ビジネス教養学科の入学定員 60 名を確保するため，入試管理委員会を中心に，入学者選抜を令和８年度入試から総合型選抜を３回から４回に変更し，令和９年度からは文系学部共通方式（AN 方式）を導入する予定がある。高校等へのアプローチとしては，併設の学部である国際関係学部へ編入学の際の推薦枠が多いことやビジネスシーンで即戦力となる８項目の学びについて，訪問及びＳＮＳ等の情報発信を行い，興味を持ってもらえる内容の検討を行う。オープンキャンパスについては，オープンキャンパス実行委員会を中心に，毎月開催し，いつでも入学希望者が相談できる体制を整えている。
　各事項を最終的に短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会で改善提案を行い，次の計画に反映し，入学定員充足を目指す。

基準６ 教員・教員組織

１　教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

短期大学部（三島校舎）では，教育研究活動の継続的な改善・向上を目的とし，人事委員会が教員組織の維持・改善計画を策定し，短期大学部（三島校舎）教授会の議を経て実行するなど，教員組織の適切な維持に努めている。しかし，令和７年度より食物栄養学科の募集を停止したことに加え，ビジネス教養学科においても教員数が１名欠員している状況にあり，教員設置基準の充足という点で課題が継続している。この現状は，短期大学部（三島校舎）自己点検・評価委員会による点検・評価の結果が，人事委員会による実効性のある改善活動に十分に生かされていないことを示している。

令和 10 年度の短期大学認証評価の受審に当たり，本短期大学部は，教員組織の質的・量的な改善を最優先課題として取り組みを強化する。具体的には，短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会の主導及び支援の下，教員組織に関する事項の点検・評価プロセスを抜本的に強化し，採用活動の有効性を定期的に検証する。加えて，専門分野の偏り是正やジェンダーバランスの是正（女性教員の採用強化）など，教員組織の多様性の確保を組織的な改善課題として明確に位置付け，これらの取組を通じて，教員充足と組織の質の継続的な改善を目指す。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学

院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

責任の所在が曖昧なまま運用される場合，業務の属人化や判断の不統一を招く可能性があり，組織的かつ効果的な教育研究活動の継続性に課題あるため，改善が求められる。

現行の評価対象が研究活動に特化しており，教育活動や社会活動といった他の業績評価との連動性が示されていないため，大学としての総合的な教員業績評価の枠組みとの統合が望まれるため，改善が求められる。

全学的な検証結果では，教員組織に関する事項の点検・評価結果を改善・向上に十分に活用していくことが求められており，短期大学部（三島校舎）においてもビジネス教養学科で１名の欠員が生じているなど，短期大学設置基準が定める教員数の充足という課題が継続している。この状況を重く受け止め，本短期大学部は図示したＰＤＣＡサイクル図に基づき，教員組織に関する評価検証プロセスを抜本的に強化する。

具体的には，人事委員会において採用辞退等のリスクを考慮した迅速かつ多角的な公募戦略を策定（Ｐ）し，教授会の議を経て確実に実行（Ｄ）することで，短期大学設置基準の確実な充足を目指す。あわせて，提言されているジェンダーバランスの是正（女性教員の採用強化）を組織的な改善課題として明確に位置付け，数値目標の設定や採用プロセスにおける多様性の確保を推進する。

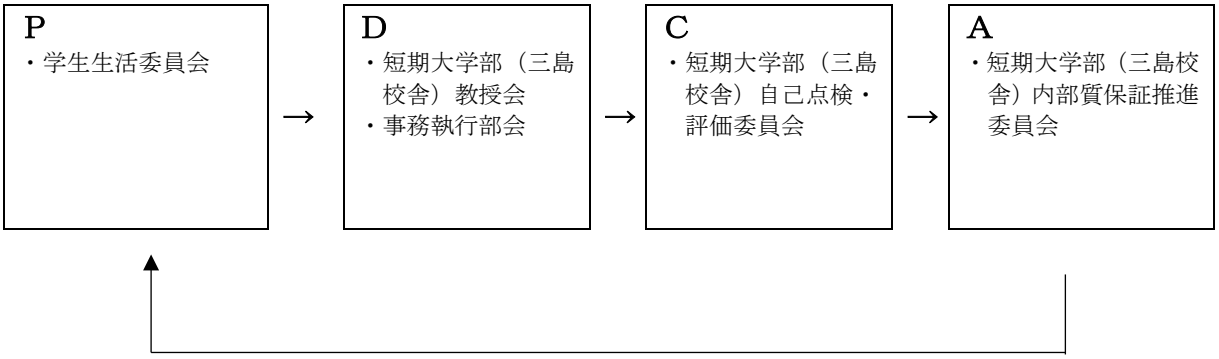
また，組織的かつ効果的な教育研究活動の継続性を確保するため，責任の所在を明確にする。具体的には，責任の所在が曖昧なまま運用されることによる業務の属人化や判断の不統一を解消すべく，平時における教職間の責任範囲や役割分担を体系化し，組織的な運営体制を構築する。教員業績評価の在り方についても見直しを行い，現行の研究活動に特化した評価体系を，教育活動や社会活動といった他の業績評価と連動させた「大学としての総合的な教員業績評価の枠組み」へと統合を図ることで，教員の多面的な貢献を適切に評価し，改善につなげる仕組みへと見直しを図りたい。

これらの改善状況については，自己点検・評価委員会が定期的に点検・評価（Ｃ）を行い，その結果を短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会が検証・支援し，適切な改善指示（Ａ）を出すことで，教員組織に関する事項のＰＤＣＡサイクルを実効性をもって機能させ，教員組織の適正化と質の継続的な向上を推進していく。

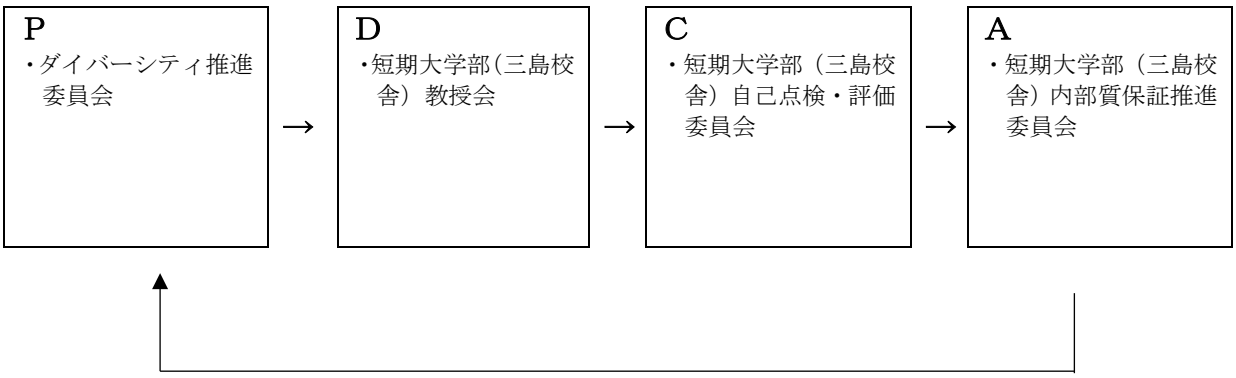
基準７ 学生支援

１　学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

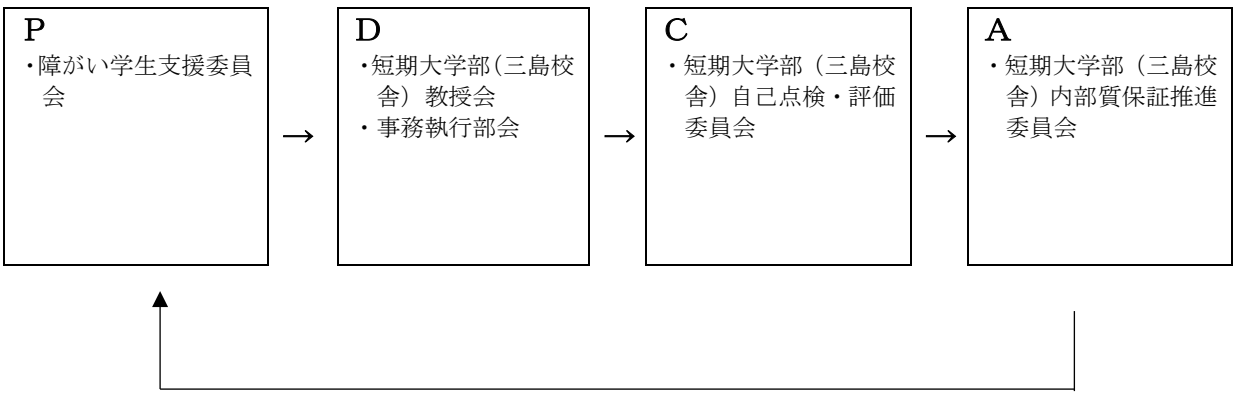
【学生の交流機会の確保，正課外における部活動及びボランティア活動の活性化】



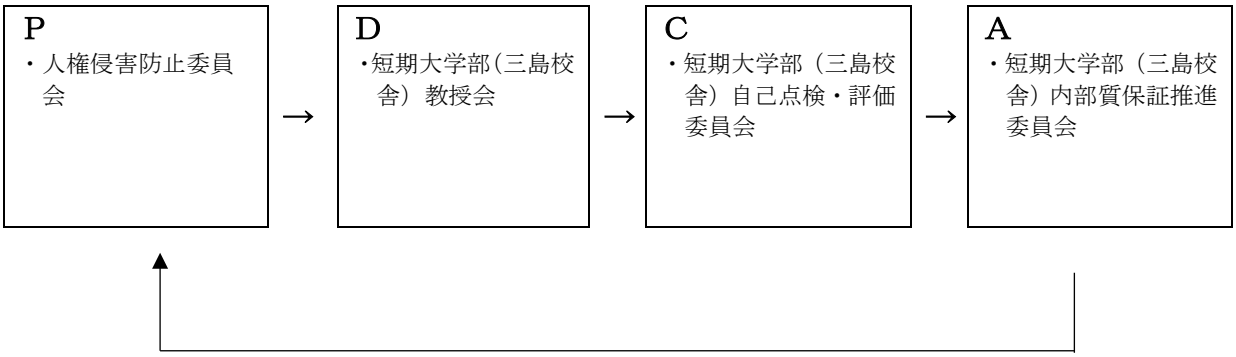
【学生に対する経済的支援（三島市による生理用品の支援)】



【障がいのある学生の基本的人権の保障】



【学生へのハラスメント防止，学生のプライバシー権の保障】



2　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

令和６年９月 26 日に短期大学部（三島校舎）自己点検・評価委員会，令和６年 10 月 11 日に短期大学部（三島校舎）内部質保証推進委員会をそれぞれ開催し，学生支援に関わる事項について，点検・評価を実施した。

学生支援の向上を図った事例として，本学部では，令和７年度から「キャンパス活性化」というスローガンを掲げ，その一環として学生の正課外における部活動及びボランティア活動をバックアップする取組みを開始している。具体的には，音楽活動や演劇活動を行う学生団体を支援する目的で，三島駅北口校舎の大教室用に，高性能の音響機器を導入した。また，ボランティア活動については，外部から募集が寄せられた際，本学部学生の派遣を依頼する内容のものについては，学生生活委員会で審議に諮り，その安全性や活動意義を精査した上で周知するようにし，学生に安心してボランティア参加してもらえるよう，募集受付から周知までの仕組みを見直した。

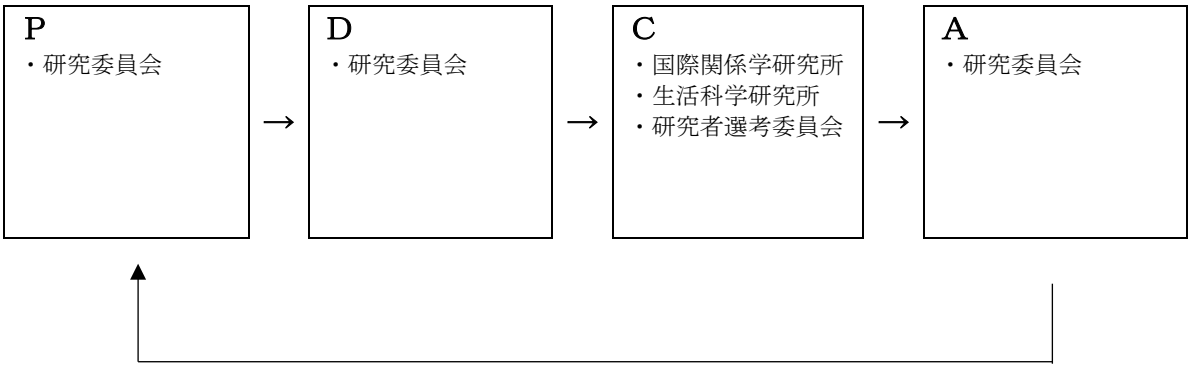
また，留学生と日本人学生の交流を目的として開催している異文化交流会について，以前は後学期に開催していたが，留学生の増加に伴い，学生同士が入学後早期に交流の機会を得られるよう，令和７年度は開催日程を前学期に変更した。その結果として，同時期に受け入れている海外提携校からの短期留学生も参加できるようになり，交流の幅が広がった。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準８ 教育研究等環境

１　研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑯　研究等環境に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

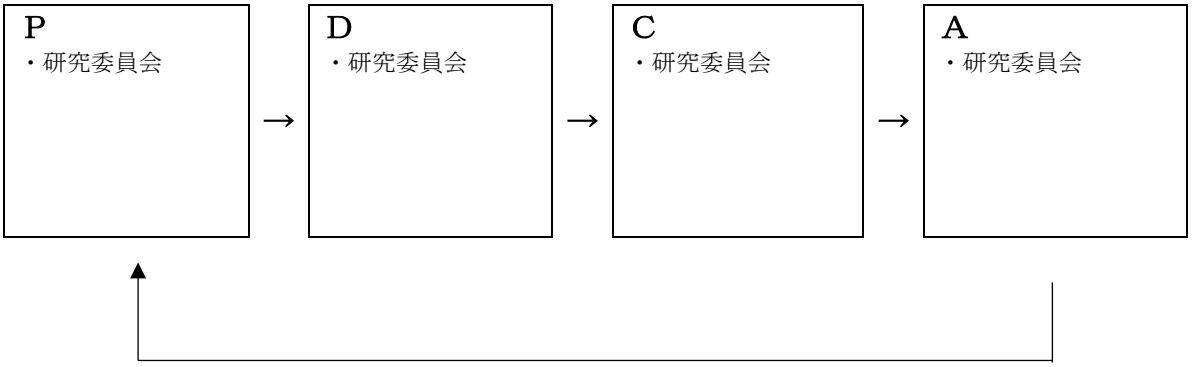
本学部研究者選考委員会で新年度の学部個人研究費申請書の内容を審議し，研究実施状況及び成果物については国際関係研究所・生活科学研究所において点検の上，本学部研究委員会で必要に応じて各研究所の点検結果にて検討が必要な事項や科研費採択時の懸案事項を検討し，改善策を計画し実行に移している。過去の事例としては，キャンパス内の共同研究を推進するために共同研究費を制定した上で，共同研究採択者に科学研究費助成事業への申請を義務付けることで改善を図った。また，個人研究費の給付額に傾斜配分を導入することでインセンティブを付した。当初はこの導入により，増額要件である科研費の申請件数に増加がみられ，今年度についても昨年度に比べ微弱ではあるが，申請件数が増加した。しかし，採択件数は昨年度より減少したため，採択件数増加の改善が必要と考える。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準９ 社会連携・社会貢献

１　社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑯　社会連携・社会貢献に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

地域社会への連携・貢献事業の開催内容については，研究委員会にて点検・評価を実施している。点検・評価の対象となるものは，地域住民を対象とした「市民公開講座（前期・後期に各４回)」や「エクステンション講座（前期・後期に各講座５回)」であるが，次回以降の内容を充実させるため，毎回講座終了後には受講者へのアンケート調査を実施している。その結果を研究委員会で精査し，次回以降の講座の企画立案に反映させるように努めている。アンケートからスポーツ関連の技術向上を目的とした講座を開講してほしいとの要望を受けて，令和６年度より取り入れた「エクステンション講座」の「ゴルフ講座」は，受講者に好評で，次年度以降の開講と参加を希望する意見が多数出された。また，受講者からの要望や講座をお願いしている講師の提案に基づき，今年度後期は初級よりレベルアップした「エクステンション講座」を用意したが，受講者数が減少したため，研究委員会にて開講内容を精査し，より多くの参加者に興味を持ってもらい，参加していただけるような内容とすべく，改善・向上に努めることとする。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし